

科目名	有機農業実践論	担当教員	松浦・他外部講師		
対象科・コース	選択	配当年次	2年次	時間(単位)数	1単位
学期	前期	曜日	集中	講時	
授業の目的と概要	現在日本の農業において有機農業の取り組み面積はわずか0.5%であり、実際に目にする機会が少ないのが現状である。そこで日本で有機農業の現状について理解するとともに、現役の農家を講師として招聘し、それぞれの地域別の有機農業の栽培方法や営農状況など有機農業の特徴について学ぶことを目的とする。				
学生が達成すべき目標	1)日本の有機農業の現状について理解する 2)栽培技術において慣行農業と有機栽培の違いについて理解する 3)有機農産市場に特徴的なマーケットや販売方法について理解する				
授業計画					
回	テーマ	授業内容			
1	有機農業ケーススタディ(福島県)	実際に就農をされている有機農家の事例を紹介する			
2	有機畜産ケーススタディ(福島県)	アニマルウェルフェアにのった放牧豚と養鶏について紹介する			
3	有機農業ケーススタディ(長野県)	実際に就農をしている若手の水稲有機農家の事例を紹介する			
4	有機農業ケーススタディ(長野県)	実際に就農をしている佐久エリアの有機農業の事例を紹介する			
5	有機農業ケーススタディ(山梨県)	実際に就農している有機農家の事例を紹介する			
6	有機農業ケーススタディ(山梨県)	実際に就農している有機農家の事例を紹介する			
7	有機就農ケーススタディ(岐阜県)	実際に就農している有機農家の事例を紹介する			
8	有機就農ケーススタディ(岐阜県)	実際に就農している白川町の有機農家の取り組みを紹介する			
9	有機農業ケーススタディ(山梨県)	実際に就農している有機農家の事例を紹介する			
10	有機農業ケーススタディ(山梨県)	実際に就農している有機農家の事例を紹介する			
11	長野県の有機農業	長野県における有機農業事情について学ぶ			
12	長野県内の地域での有機農業の取り組み	長野県における自治体での有機農業に関する取り組みについて学ぶ			
13	有機農業ケーススタディ(山梨県)	実際に就農している有機農家の事例を紹介する			
14	有機農業ケーススタディ(山梨県)	実際に就農している有機農家の事例を紹介する			
15	日本の有機農業の実態	日本で有機農業に力を入れている地域や特徴などについて概説する			
授業準備(予習・復習)の具体的な内容及び、それに必要な時間	【予習】 日本の有機農業に取り組みがさかんな地域について調べて、どのような共通点があるか考察する 【復習】 有機農家らの話を聞いて有機農業ならではの課題ややりがいについて理解すること				
成績評価	方法	<input type="checkbox"/> 定期試験(%) <input type="checkbox"/> 実技試験(%) <input type="checkbox"/> 実習・演習評価(%) <input type="checkbox"/> 小テスト(%) <input type="checkbox"/> 平常点(%) <input checked="" type="checkbox"/> レポート(100 %) <input type="checkbox"/> その他(%)			
	基準・備考				
使用教材	教科書	なし			
	参考書等	なし(ハンドアウト等)			
教員からのアドバイス・備考	農林水産省の「みどりの食料システム戦略」の目標の一つに「2050年までに耕地面積に占める有機農業の取組面積を25%、100万haに拡大する」と掲げている。農業は食料生産以外にも多面的な機能をもっており、さまざまな地域で就農している有機農家の取り組みについて知り、有機農業ならではの工夫について学んでください。				